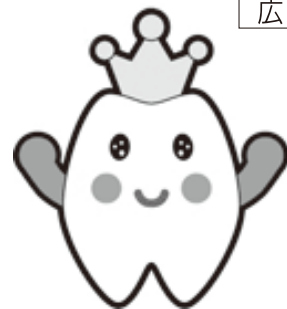


11月8日は いい歯の日



栃木県歯科医師会 PRキャラクター
「ピカちゃん」

「健康寿命の延伸を目指して」



日本歯科医師会 PRキャラクター
ご当地よ坊さん(栃木県版)

歯や口腔(こうくう)の機能を生涯にわたり維持することは、「美味しく食べる」、「楽しく会話する」、「豊かな表情を整える」など、私たちが日常生活していくために欠かせない身近な行動

と密接な関係があります。

また、歯や口腔の健康を保つことは、糖尿病、脳血管疾患、虚血性心疾患などの生活習慣病の予防となるだけでなく、定期的に口腔ケアを行うことにより、口腔機能が健全に保たれ、その結果、健康寿命を延伸することにつながります。

栃木県では、県民が心身ともに健やかに歳を

「食べることは生きること」

重ねていくことのできる「健康長寿日本一とちぎ」を目指し、県を挙げて県民の健康づくりに取り組んでおります。

歯科においても、「栃木県歯科保健計画」「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき「8020の推進」「生活の質(QOL)の向上」など、各種啓発活動を実施し、県民歯科保健の向上を図っています。

歯や口腔の機能を維持し、「自分の口で一生涯美味しく食べる」ことは、生命を支え維持するだけでなく、生活や人生を豊かにし、人々に幸福感をもたらします。

栃木県歯科医師会は、県民の皆様の健康と豊かな生活を支えていくために活動しています。



栃木県歯科医師会会長

柴田 勝

歯科医療は「生きる力を支える生活の医療」です。